

2021
10/16 sat
13:30 - 16:00

実施方法 オンライン(Zoom)

定員 100名

参加費 無料(会員・非会員とも)

申込方法 文化経済学会<日本>会員・非会員を問わず、以下のURLまたはQRコードから事前に登録してください。**10月9日(土)締切**



申し込みをされた方には前日までにメールでZoomのURLをご連絡します。

<https://forms.gle/vDPLPawKToQ2Czwr6>

主催 文化経済学会<日本>

文化経済学会<日本>2021 秋の講演会

デジタル化の進展と 芸術文化

コロナ禍においてライブによる芸術文化活動が大きく制約を受けるなか、デジタル化の進展による新たな動きが見られます。こうした動きはアフター・コロナにも進展し、芸術文化の収益化につながるのでしょうか。また、ライブによる芸術文化活動と共存しうるのでしょうか。

本講演会では、ライブストリーミングチャンネルDOMMUNEを主宰する宇川直宏氏、フリーコンテンツについて経済学的視点から研究を行う田中辰雄氏、コロナ禍以前からデジタル化への取り組みが進む音楽分野での配信を先導してきた伏谷博之氏と当学会の太下義之理事によるクロストークにより、デジタル化の進展と芸術文化の今後を展望します。



宇川直宏氏



田中辰雄氏



伏谷博之氏



太下義之理事

出演者プロフィール



宇川直宏 現“在”美術家／DOMMUNE 主宰

1968年香川県生まれ。現“在”美術家。映像作家、グラフィックデザイナー、VJ、文筆家、大学教授など、80年代末より多岐にわたる活動を行う。2001年「Buzz Club: News from Japan」(MoMA PS1・ニューヨーク)、「JAM:Tokyo London」(Barbican Art Gallery・ロンドン)に参加して以来、国内外の多くの展覧会で作品を発表。2010年には、日本初のライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」を個人で開局。記録的なビューワー数で国内外にて話題を呼び、2011年文化庁メディア芸術祭推薦作品に選出される。2021年、第71回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



田中辰雄 慶応義塾大学 経済学部教授

1988年東京大学大学院経済学研究科単位取得退学。著作権を中心にコンテンツ産業を計量的に分析している。デジタル時代の著作権のあり方について発信中。近著に「漫画の定額配信サービスの可能性—漫画海賊版への対抗策」情報通信政策研究3(2) 25-48 2020年 https://www.soumu.go.jp/main_content/000679324.pdf 「海賊版対策異論—海賊版への前向きな対処方法」『知財のフロンティア』田村・山根編、第13章。勁草書房 2021年秋刊行予定。



伏谷博之 ORIGINAL Inc. 代表取締役／タイムアウト東京 代表

島根県生まれ。関西外国語大学卒。大学在学中にタワーレコード株式会社に入社し、2005年代表取締役社長に就任。同年ナップスタージャパン株式会社を設立し、代表取締役を兼務。タワーレコード最高顧問を経て、2007年 ORIGINAL Inc. を設立し、代表取締役に就任。2009年にタイムアウト東京を開設し、代表に就任。観光庁、農水省、東京都などの専門委員を務める。



コーディネーター 文化政策研究者／同志社大学 経済学部教授 太下義之 国際日本文化研究センター 客員教授

博士(芸術学)。文化経済学会<日本>理事、文化政策学会理事、デジタルアーカイブ学会評議員。文化庁文化審議会(博物館部会)委員、日本芸術文化振興会「日本博」アドバイザー、2025年大阪万博アカデミック・アンバサダー、オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進委員会副委員長、公益財団法人静岡県舞台芸術センター評議員、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。単著『アーツカウンシル』(水曜社)

当日のスケジュール ※変更になる場合があります。

13:30 開始

文化経済学会・大会優秀発表賞の表彰式
表彰式終了次第、秋の講演会開始

13:50 ゲストのキー・ノート・スピーチ

15:10 討論

15:40 視聴者からの質疑応答

16:00 終了予定